

科目名	ジャーナリズムとメディアリテラシー			授業形態	開講期間	9月27日～1月30日			
	英文科目名	Journalism and media literacy		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	月曜日 第3講時 17:30～19:00 火曜日 第4講時 19:10～20:40			
受講定員等	担当教員	志田 義寧		開講場所	石川県政記念しいのき迎賓館 3階 セミナールーム A				
	単位数	2単位		成績評価の方法	授業への参加度と課題レポートによる総合評価				
	定員数	指定しない							
	特別聴講学生等定員	指定しない							
	科目等履修生定員	指定しない							
	シティカレッジ聴講生定員	指定しない							
	定員超過時の選考方法等	指定しない							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)	
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：				受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	<p>ここ数年、メディア不信が広がっている。その原因の一つに、正確な記事を書いていないという批判がある。では、正確な記事とは何だろうか？事実に基づいていれば、それは正確であると言えるのか？</p> <p>事実は無数にあり、選択する事実によって、見える景色は違う。例えば、経済分野では、記事を構成するピースは全て事実でも、実質か、名目か、起点をどこに置くか、比較対象を何にするかで、正反対の記事を書くことも可能だ。</p> <p>記者の仕事は取材で集めた事実を積み上げ、本当のこと、すなわち真実を明らかにすることだが、事実と真実はイコールではない。</p> <p>この授業は、ジャーナリズムの原則や課題等について理解するとともに、事実を見る目を養うことを目的とする。人間の認知能力には限界があり、常に合理的に判断しているわけではない。とりわけ誰もが持っている認知の癖（バイアス）は、フェイクニュースが拡散する一因にもなっている。</p> <p>講師は2020年までライター通信等の記者として20年超にわたり取材活動を続けてきた。形式的なジャーナリズム論ではなく、取材の現場から見えたものを伝えていく。講師が長く関わってきた経済報道や企業の情報開示についても掘り下げる。</p>							その他特記事項	
								教科書は使用しない	
授業担当教員紹介			URL	https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/teacher/y-shida.html					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	y-shida@hokuriku-u.ac.jp					